

平成29年度出水期に実施予定の防災気象情報の改善の概要

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29出水期提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【現在】
注意報・警報
(文章形式)

【改善策】

平成 x x 年 x x 月 x 日 x x 時 x x 分 x x 地方気象台発表 x x 市

【発表】 暴風, 波浪警報 大雨, 雷, 濃霧注意報
【継続】 高潮注意報

x x 市	今後の推移 (■ 警報級 □ 注意報級)																
	7日							8日									
発表中の警報・注意報等の種別	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
大雨 (浸水害)	10	10	30	30	50	50	50	30									
暴風 (突如・メートル)	陸上	13	18	20	20	20	20	20	13	海上	20	20	20	20	20	20	20
波浪	波高(メートル)	5	5	8	8	8	9	8	7	7							
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2							

改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29出水期提供開始

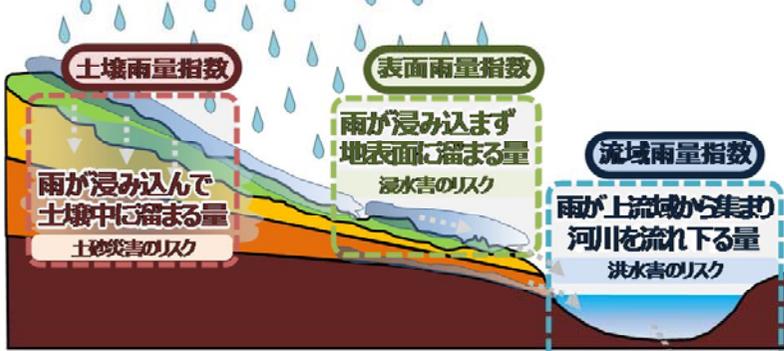
- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高なくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨 中	—	—	中	高	—
	風 中	—	—	高	高	—

改善Ⅲ 危険度分布 (メッシュ情報) の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発 (表面雨量指数・流域雨量指数)

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

- 「新たなステージ」に対応した防災気象情報 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/newstage.html>
- 洪水警報の危険度分布 (平成29年度出水期より) http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/riskmap_flood.html



構成機関の取組状況＜平成28年度末＞

美馬市

■ハザードマップの改良

美馬市 防災マップ

わが家の防災メモ

気象情報の在りか

洪水編

大雨・台風にもなえて

避難時の心得

浸水継続時間編

防災マップ 洪水編(吉野川)

美馬市では、平成28年5月に想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域図が公表されたことに伴い、平成18年度に作成した美馬市のハザードマップ（防災マップ）に改良を加え、平成29年3月に、四国直轄沿川の市町村で初めて全戸配布・ウェブサイトで公表しました。

今後は、このハザードマップを自主防災組織などが実施する避難訓練等に役立てるよう周知を図ってまいります。

構成機関の取組状況＜平成28年度末＞

三好市

■三好市学校防災ネットワーク会議の活用



三好市学校防災ネットワーク会議の開催状況

三好市学校防災ネットワーク会議等を活用し、教職員らと防災に関する勉強会や講演会を通して防災意識の向上や技術の向上を図りました。

構成機関の取組状況<平成28年度末>

つるぎ町

■土のう作り訓練の実施



土のう作り訓練の実施状況

平成28年5月出水期を前に、町職員約40名の参加により、750体の土のうを作成しました。土のう作りを実際に体験し、その重さや製作時間、安定した積み方等々を感じ取り、洪水時等には確実に実践できるよう訓練を実施しました。

■洪水浸水想定区域の見直しを説明



洪水浸水想定区域の見直しの説明状況

平成28年5月27日に開催した自治会長会議において、4月に公表された水防法の一部改正による吉野川の浸水想定区域（ハザードマップ）の見直しの説明を行い、洪水に対する更なる警戒を呼び掛けた。なお、一部の自治会からは、当日説明した資料と地図の一部コピーの申し出があった。

構成機関の取組状況＜平成28年度末＞

徳島県

■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援



説明会の開催状況



要配慮者利用施設に係る避難計画作成に関する徳島県ウェブサイト

平成28年12月から平成29年1月にかけて要配慮者利用施設の管理者に対する説明会を県内各地で10回開催し、水防情報や避難計画作成について説明を行いました。徳島県ウェブサイトで「要配慮者利用施設の避難計画作成の手引き」を公開しました。河川整備課内に避難確保計画作成に係る相談窓口を設置しました。

■ 関係機関へ適切かつ確実に情報伝達する体制や方法の改善



池田ダム操作について三好市長への説明状況

水資源機構では、洪水時における池田ダムの操作について、三好市長に説明を行いました。池田ダムでは、洪水時には担当部局である三好市危機管理課に、こまめな情報伝達を行っていますが、改めて市長に理解いただきたく、説明を行ったものです。三好市長はダム操作についてよくご存知でしたが、市民の皆様は必ずしもそうでないことが、わかりました。今後は、市長との意見交換を踏まえ、今後、広報のあり方を検討していくとともに、他の市町についても同様の取組みを進めてまいります。

構成機関の取組状況＜平成28年度末＞

四国地方整備局

■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策



協町第一箇所 の 堤防整備状況

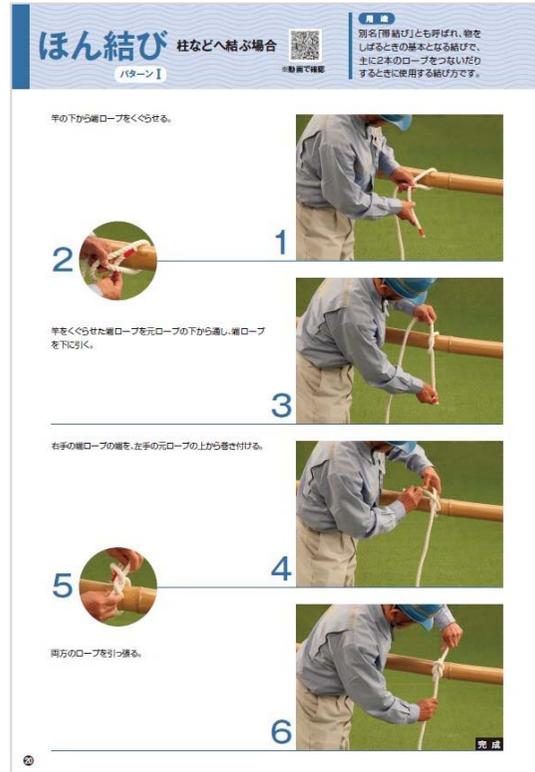
平成29年2月、昭和48年に着手し地域の長年の悲願であった協町第一堤防事業がついに完成しました。

築堤延長3,460m、総事業費59億円。

堤防の完成により、浸水被害の防止がされ、安心安全な地域を創出した。

構成機関の取組状況＜平成28年度末＞ 四国地方整備局

■ 水防指導者の育成



実務者のための水防災・減災ハンドブック



伝統的な水防工法を基本として、現代の技術を応用し、改良された最新の水防工法まで幅広く学ぶことができ、水防指導者の育成及び水防技術を後世へと伝承していくことを目的に『実務者のための水防災・減災ハンドブック』を作成しました。

さらに、動画でもロープワークを学ぶことができ、ハンドブックと併用することによって効率よく技術を習得できるようにしました。

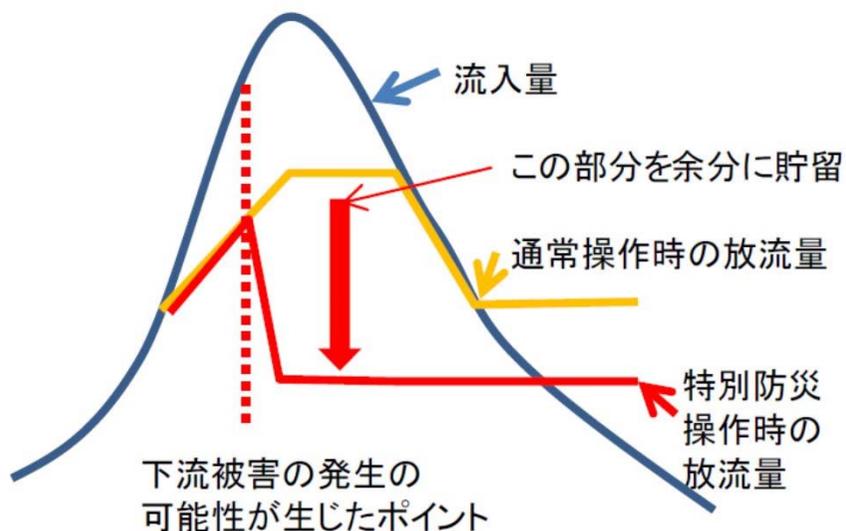
構成機関の取組状況<平成28年度末> 四国地方整備局

■ 特別防災操作の検討

特別防災操作：

下流河川で浸水被害が発生又は恐れがある場合にダムの通常操作以上に貯留し、放流量を減少させる操作

特別防災操作実施イメージ



吉野川上流ダム(早明浦ダム、池田ダム、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダム)において特別防災操作実施について検討

早明浦ダム

池田ダム

富郷ダム

柳瀬ダム

新宮ダム

各ダムにおける検討結果及び銅山三ダムの特別防災操作実施フロー(案)を基に、銅山三ダムを連携させた特別防災操作の実施について検討。

H29年度末完了を目指す。